

第 62 回北海道高等学校テニス選手権大会
兼 第 112 回全国高等学校テニス選手権大会北海道地区予選会 開催要項

- 主催** 北海道高等学校体育連盟・北海道教育委員会・北海道テニス協会
後援 札幌市・札幌市教育委員会
主管 北海道高等学校体育連盟テニス専門部・北海道高等学校体育連盟テニス専門部札幌支部
札幌テニス協会
- 当番校** 北海道札幌西陵高等学校（札幌市西区平和3条4丁目2番1号 TEL:011-663-7121）
- 1 期 日** 令和4年6月6日〔月〕～9日〔木〕（予備日10日〔金〕）
6月6日〔月〕 8時30分～14時30分 公式練習
15時 監督連絡会（野幌総合運動公園体育館）
16時 開会式（野幌総合運動公園テニスコート）
※ 雨天時は（野幌総合運動公園体育館）にて行う。
6月7日〔火〕 8時30分 競技開始（団体戦・個人戦ダブルス）
6月8日〔水〕 8時30分 表彰式・競技開始（個人戦ダブルス・シングルス）
6月9日〔木〕 8時30分 表彰式・競技開始（個人戦シングルス）
競技終了後閉会式
- 2 会 場** 野幌総合運動公園テニスコート〔江別市西野幌481番地 TEL:011-384-2166〕
（砂入り人工芝コート18面）
- 3 種 目** (1) 男子・団体戦・個人戦（ダブルス、シングルス）
(2) 女子・団体戦・個人戦（ダブルス、シングルス）
- 4 競技規則** 国際テニス連盟規則に準ずる。（道高体連テニス専門部で定めるローカルルールを採用する）
- 5 参加資格** (1) 北海道高等学校体育連盟に加盟している高等学校生徒で、全道大会参加の資格を得た者。
(2) 北海道テニス協会加盟校の選手（加盟登録者または登録予定者）であること。
(3) 高体連主催大会参加者災害補償制度に加入した者、または加入の意思のある者。
(4) 年齢は4月2日起算とし、19才未満の者とする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
(5) 転校後6ヵ月未満の者は参加を認めない（外国人留学生もこれに準ずる）。ただし、一家転住等やむを得ない場合は、支部長の許可があればこの限りではない。
(6) 参加する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長が支障ないと判断した者とする。
(7) 参加資格の特例
① 上記(1)に定める生徒以外で、(2)～(6)の大会参加資格を満たした生徒を、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
② (4)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。高等専門学校については、第3学年までの19才未満の者に限る。
- 6 引率・監督** (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則78条の2に示された者）も可とする。但し、当該都道府県高体連会長に事前に届け出ること。
(2) 監督・コーチ等は校長の認める指導者とし、傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に加入することを条件とする。
- 7 チームの編成等** (1) 団体戦（出場数は北海道高等学校体育連盟全道高校大会基準による）
① 編成は監督1名・選手4名以上5名以内と、マネージャー1名以内とする。
※ ただし、全国高校総体に出場する場合の選手登録は5名でなくてはならない。
② 登録はシングルスの実力順とし、支部大会の団体登録順位を変更してはならない。ただし、支部大会の個人戦シングルスの結果に応じた登録順位の変更はしなければならない。
※ 札幌はベスト16、その他の支部は開催支部枠を除き団体戦2校支部はベスト8、団体戦1校支部はベスト4以上の成績を残した選手は、成績に応じた登録順位にしなければならない。（順位戦を行っている場合はその順位に応じること）
※ 札幌支部ベスト32内に、全道出場選手（ベスト20）と出場できない選手がいる場合は、全道出場選手を上位に置かなければならない。
③ 団体戦は登録選手の中からダブルス1組、他の登録選手から実力順に任意の2人でシングルス2本を作る。
④ 当番校枠として男女各1チームが団体戦に参加することができる。

- 8 競技方法
- (2) 個人戦（ダブルス・シングルス）出場数は北海道高体連の全道高校大会出場基準による。
 - (3) チームの構成は、単一の学校でなされること（合同チーム、男女の混合は認めない）。
 - (1) 団体戦はダブルス1組・シングルス2本のトーナメント形式とし、初回戦は勝敗に関わらず3試合すべてを行う。ただし、進行状況により第3試合を打ち切ることがある。
 - (2) 個人戦はダブルス・シングルスともにトーナメント形式とする。
 - (3) 代表決定戦の前のラウンドまでは全て6ゲーム1セットマッチで行う。6ゲームオール後はI T F方式タイブレークを採用する。また、代表決定戦以降は全て8ゲームプロセットとし、8ゲームオール後はI T F方式タイブレークを採用する。ただし、進行状況により、6ゲーム1セットマッチとすることがある。
 - (4) 使用球は、男子・女子ともにウイルソンUSオープン「エクストラ・デューティー」とする。
 - (5) 初回戦の審判はシード校（選手）、以降の試合は敗者審判を原則とする。

9 選手変更 **【団体戦の選手変更】**

- (1) 団体戦においては『怪我・疾病・忌引き・転校』が理由の場合に限り選手変更ができる。
 - ※ 成績不良や指導事故、学校行事が理由での選手変更は認めない。
 - 選手変更の必要が生じた場合は、速やかに各支部の専門委員へ報告をし、各支部の専門委員は道専門委員長に報告をして許可を得ること。
 - 欠場の理由が回復した場合でも、選手変更をした大会期間中は当該選手を再登録することはできない。
 - ※ 今大会を勝ち進み、次の大会（全国大会）に進出した場合は、当該選手を再登録することができる。
- (2) 監督連絡会後の選手変更は一切受け付けない。

【団体戦の選手変更における注意事項】

- (1) 選手変更を申し出る場合は、学校長の承認を必要とする。
 - ※ 選手変更申請書の様式は問わない。また、急な場合は後日申請書を提出してもよい。
 - ※ 再登録する場合も学校長の承認を必要とする。
- (2) 選手変更で抜けた選手の登録順位は下から詰め、新しく登録する選手を最下位の登録順位とする。
- (3) 再登録する場合、対象選手は抜けたときに入れ替えた選手とし、再登録の際の登録順位は参加申込み時の登録順位に戻さなければならない。

【団体戦登録選手の抹消】

- (1) 登録選手を抹消した場合、抹消した選手の登録部分は空欄とする。

【個人戦の選手変更】

- (1) 個人戦参加選手が真にやむを得ない事情で大会に参加できなくなった場合は、速やかに各支部の専門委員に報告し、各支部の専門委員は道専門委員長へ報告をして許可を得ること。
- (2) 監督連絡会までの間に支部内で欠員が生じた場合、各支部の専門委員が道専門委員長の許可を得た上、補充としてその支部内の選手をラッキールーザーとして充てることができる。
- (3) ラッキールーザー有資格者は予選参加者に限られ、その最優先者は予選最終ラウンドの敗者とする。そこに該当する選手がおらず、さらにラッキールーザーが必要な場合は、予選最終ラウンドの一つ前の敗者とし、以下同様とする。これ以外の補充は認められず、該当する選手がいけない場合は棄権とする。
- (4) 監督連絡会後の選手変更は一切受け付けない。
- (5) ダブルスにおいて、選手を組み替えての選手変更はできない。

10 参加申込

- (1) 参加校の顧問は、5月16日（月）以降に参加申込用紙を北海道高体連テニス専門部ホームページ（<http://www.do-tennisen.org>）からダウンロードし、支部予選の結果をもとに参加申込書に必要事項を記入し、5月23日（月）正午までに各支部の専門委員にメールで送付すること。
 - なお、職印の入った正式の申込書は、6月6日（月）の監督連絡会で提出すること。
- (2) 各支部の専門委員は、団体登録順位等を確認し「各校の申込書」と「各支部の個人戦の順位表」を一緒に5月24日（火）正午までに、北海道高体連テニス専門部・申し込み担当者（市立札幌啓北商業高等学校・長永勝利 メールアドレス hokkaido_tennisen@yahoo.co.jp）へ、メールで送付すること。

【問い合わせ】 ・北海道高体連テニス専門部専門委員長 市立札幌清田高等学校 川口 浩史

（札幌市清田区北野3条4丁目6番1号 TEL:011-882-1811）

・当番校：北海道札幌西陵高等学校（札幌市西区平和3条4丁目2番1号 TEL:011-663-7121）

(3) 「各校申し込み締切」

- 5月23日(月) 正午必着 各支部の専門委員へメールで申し込むこと。
- (4)「各支部専門委員申し込み締切」
5月24日(火) 正午必着 申し込み担当へメールで申し込むこと。
- (5)「個人戦組合せ抽選会議(道専門委員会)」
(今大会から団体戦は、別途定める規定により開会式後抽選を行う。)
5月27日(金) 午前10時から市立札幌清田高等学校で開催。
選手1名につき1,500円(マネージャー・補助員の分は不要)

11 参加料

12 宿泊・弁当 宿泊・弁当については別紙の案内を参照し、各校が直接申し込むこと。

13 表彰等

- (1) 団体、個人とも3位まで表彰する。
(2) 全国大会(インターハイ)への出場

①男子: 団体1校 個人ダブルス2本・シングルス4本

②女子: 団体1校 個人ダブルス2本・シングルス4本

14 その他

- (1) 監督及び引率責任者は、選手すべての行動に対して責任を負うものとする。また、大会における全ての事項についての質疑は監督または引率責任者に限られる。
(2) 試合のルールや注意事項など、大会に出場する上で重要な説明や連絡事項があるため、監督は必ず監督連絡会に出席すること。また、監督連絡会は討議の場ではないので、大会に関して検討を要する質疑事項がある場合は、必ず各支部の専門委員を通した上、6月または9月の道専門委員会で検討することとする。
(3) 選手及び監督・引率責任者は開会式に参加すること。
(4) 開会式・閉会式・表彰式の服装はチームウェアまたはテニスウェアとする。
(5) 公式練習は、6月6日(月)8時30分~14時30分とする。
※ 公式練習コートの割り当ては5月27日(金)の専門委員会で言い、後日各支部の専門委員が連絡する。(道テニス専門部のホームページに掲載し、随時更新)
(6) 天候の状況により、止むを得ずコート(サーフェスを含む)の変更をする場合がある。
(7) 大会は高等学校教育の一貫であることを踏まえていることから、著しく他に影響を与えるような髪色の染色や華やかな装飾品の着用(ピアス・アクセサリ等)は禁止する。
(8) 試合の服装はテニスウェア(ゲームシャツ)とする。また、ガットマークは禁止する。
(9) 相手の選手や周囲の試合中の選手への配慮として、試合中に不必要と思われる応援行為を禁止する。(今大会の応援は、拍手のみ。)

※ 必要に応じて、コートレフェリーから注意指導を行う。

- (10) **無観客での大会開催**です。チーム部員と引率顧問及び監督以外の方は会場に入ることや応援はできません。保護者、テニス関係者等に確実に伝え理解を得ること。